

2025年8月8日、省エネ施策の実行計画書(案)を作成しました

実施予定の省エネ施策を実行計画書としてまとめました(右の画像はイメージ図です)。

それぞれの取り組みによる、当年度の電力使用量削減効果が理論値で試算されるようになっています。

また電力使用量の月別推移を添えることで、取り組み開始からの大まかな実績も検証することができます。

## EMS(エネルギー・マネジメントシステム)について

複数の空調機などを制御するシステム、EMS(エネルギー・マネジメントシステム)についてリコージャパン(株)から紹介がありました。EMSとは空調機などの出力を自動制御し、電力使用量を最適化するシステムです。

～EMS(エネルギー・マネジメント・システム)について～

EMS(エネルギー・マネジメント・システム)の仕組みは以下のとおりです。

- ① 空調機など複数の機器にセンサーなどを取り付けた上、EMSソフトウェアと繋がる通信ネットワークを構築します。(業種や工場の規模などにもよりますが、導入コストは数百万円になります)。
- ② 取り付けたセンサーを通じて、空調機など複数の機器の電力消費データをリアルタイムで収集します。
- ③ 収集したデータを分析し、空調機の設定温度、稼働時間、風量などを自動で最適に制御します(人がいないエリアの空調機を自動停止したり、電力需要ピーク時に合わせ運転を抑制したりします)。

送風時でも一定の温度変化があると冷房に切り替わるため、人が暑さ、寒さを感じないようにできています。